



川俣小学校「学校だより」

輝くひとみ

令和6年3月21日(木) 第26号(最終号)

みんなでのびる

☆高め合う子

☆助け合う子

☆きたえ合う子

発行者 校長 小野真教

卒業・修了、おめでとうございます



<修学旅行・座禅体験>



<運動会・150m走>

早いもので、川俣町の学校が再編され2年が経ちました。令和5年度の教育活動208日も無事終わりを迎えようとしています。

昨年度は、環境の変化や新しい人間関係に不安を抱える児童が多くいました。しかし、地域の方々、保護者の皆様の温かいご支援のおかげで、子どもたちは徐々に新しい環境に慣れ、落ち着いて学校生活を送るようになってきました。

特に、縦割り班活動や委員会活動等を通して、異学年との交流が行われ、上級生が下級生を優しくリードする姿や、互いに協力して物事に取り組む姿は、本校教育目標の土台である「協働」を体現するものと言えます。

地域の方々との交流も盛んに行われました。森の案内人さんには何回も学校に足を運んでいただきました。今年度から始まった地域学校協働活動を利用しての人材活用でも様々な分野の方に学校の授業をお手伝いしていただきました。工場、施設等の見学

はもとより、川俣町の産業や自然、文化等について深く学ぶ機会が多くありました。それだけでなく、近畿大学の先生（SDGs教育）弁護士（いじめ出前授業）、福島大学の教授（放射線について）にもおいでいただきました。本校の子どもたちは町の歴史や文化、自然環境等を学び、地域に触れる機会と温かい人情にも触れる貴重な経験をしました。

保護者の皆様には、PTA 活動や各種行事へのご協力、そして子どもたちへの温かい励ましの言葉をいただき、本当にありがとうございました。保護者の皆様の深い理解と愛情が、子どもたちの成長の大きな支えとなりました。

再編2年間で培ってきた「協働」と「地域とのつながり」は、本校の宝です。この宝を未来へつなぎ、子どもたちがさらに大きく成長していくことを願っています。教職員一同、子どもたち一人ひとりの成長を願い、これからも尽力してまいります。

これまで本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。最後になりますが、卒業生の保護者の皆様におかれましては、お子さんの卒業誠におめでとうございます。これまで育てられるのに、数々のご苦勞があったことと思います。心から敬意を表します。卒業生の中学校でのさらなる飛躍を願っています。



<花塚山登山>